

レジ袋使用量の推移※1

年度	枚数(単位:千枚)	重量(単位:t)	備 考
2007	310,559	1,818	レジ袋無料配布の中止
2008	309,222	1,851	96店舗で無料配布中止
2009	134,678	1,029	170店舗で無料配布中止
2010	116,749	964	約73%の店舗で無料配布中止
2011	111,632	851	四日市市・弥富市などの店舗が加わる
2012	110,743	839	約80%の店舗で無料配布中止
2013	109,528	821	滋賀県、長野県、愛知県全域で無料配布中止
2014	6,845	616	関東8県、関西2県も含め全店舗で無料配布中止

※1 2008年にユーストアと合併し80店舗増える ※2 容器包装リサイクル法に基づき、財団法人日本容器包装リサイクル協会へ支払った委託金額

※3 プラスチック容器のPB商品販売拡大に伴い、委託金額が増加。また前年実績による算出のためレジ袋削減の成果は2015年に反映される

容器包装リサイクル法への対応※2

年度	委託金額
2007	2億9,729万円
2008	2億7,978万円
2009	2億2,272万円
2010	1億6,655万円
2011	1億6,154万円
2012	1億4,868万円
2013	1億5,866万円
2014	1億6,104万円※3

レジ袋無料配布中止(有料化)

ユニーは、2007年6月に、横浜市のピアゴ中山店(旧ユニー中山店)で初めて有料化を開始しましたが、単独での実施だったため、自治体や消費者・同業者との連携が取れず、またお客様からのご理解がいただけず来店客が減少、売り上げも一時低迷するといった厳しいスタートでした。

店舗での啓発活動の結果、売り上げは持ち直せましたが反省することがたくさんありました。これ以降、ユニーは自治体や市民との合意のうえ、地域の近隣の同業他社とも連携し、地域全体で取り組みました。その後は大きな問題もなく地域を拡大、2014年2月20日には全店舗レジ袋無料配布中止(有料化)を実現しました。

- 1 自治体が、レジ袋削減は「廃棄物削減および地球温暖化防止」のためであることを広く市民に知らせ、主体的に取り組むこと。
- 2 地域の市民団体が支援して下さること。
- 3 地域の小売り事業者などが皆で参加すること。

自治体・市民団体・事業者の三者がそれぞれの役割を果たすために、協議会を設立し十分に話し合い、協定書を締結するよう努める。

地球環境活動に寄付

有料レジ袋を購入していたくと、ユニーは1枚につき1円を、地域の自治体の環境活動に寄付します。

●2014年度実績

114市町 222店舗
3,431万5,208円



愛知県一宮市に寄付金を渡す
テラスウォーカー一宮の河野支配人

減装(へらそう)ショッピング

容器包装においては商品の品質や衛生安全を保全し、手軽に安全に持ち運びできる機能を保ちつつ、軽量化など環境負荷を低減させることが課題です。そこで、中身に対して容器包装の軽い商品をショーカードなどで提示し、消費者に紹介して購入を促す実証実験を、NPOごみじゃぱん(神戸大学)と一緒に進めています。3Rの中で一番難しいとされる、リデュース(発生抑制)の取り組みです。



東海三県一市グリーン購入キャンペーンに出展



エコフェスタに日本ハムと出展
(愛知県 リーフワーク稲沢)



消費者に容器包装の話をする学生



子ども達にゲームで教える
(奈良県 アビタ西大和店)

東海三県一市グリーン購入キャンペーン

持続可能な社会を構築するためには、消費者がエコライフスタイルを選ぶことが大切です。商品を購入する時に、容器包装が軽量なもの、容器詰め替え商品、容器包装資材が再生資源やバイオマスプラスチックなどのものを選ぶ、グリーン購入を啓発する活動として、愛知県・岐阜県・三重県・名古屋市の小売事業者の協働で行う東海三県一市グリーン購入キャンペーンを開催しました。



キャンペーンポスター



愛知県と協働でイベントを開催



佐古社長と大村知事、百瀬部長



ユニーの環境配慮商品eco:lonを紹介



愛知県AELネットも出展
(環境施設のスタンプラリー)



三重県 アビタ四日市店



名古屋市 アビタ鳴海店



岐阜県 アビタ御嵩店